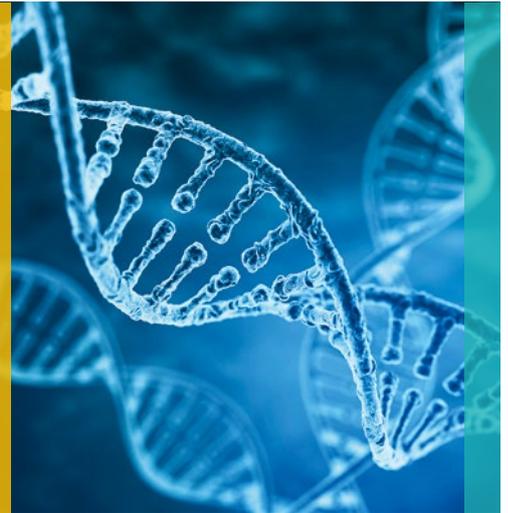




日本人類遺伝学会第 65 回大会 アジレント・テクノロジー 共催 Web セミナー



会 期

2020 年 **11** 月 **18** 日 (水) ~ **12** 月 **2** 日 (水)

講演
1

ゲノミクスの社会実装に向けて：期待と課題

かずさ DNA 研究所

小原 収 先生

講演
2

NGS 解析の効率を上げる新しいキャプチャライブラリと 全自動ライブラリ調製装置

アジレント・テクノロジー株式会社

堀田 雅宏

アジレント・テクノロジー共催セミナー、展示へのご参加方法

大会への登録が必要です

参加要件

学会ホームページより参加登録が必要です。

<http://www.congre.co.jp/jshg2020/>

大会ホームページの「オンライン参加登録」よりご登録ください。

詳細は学会事務局にお問い合わせ願います。

共催セミナー、展示会について

参加方法

大会 HP に記載されるリンクからとなります。登録をされた方はログインをすることで、本学会の情報にアクセスできるようになります。

※詳細については学会事務局にお問い合わせください。



Trusted Answers

ゲノミクスの社会実装に向けて：期待と課題

かずさ DNA 研究所 小原 収 先生

DNA シーケンシングの急速な技術的な進歩とそれを支える次世代シーケンサーの普及により、遺伝子解析が臨床現場に貢献することが現実のものとなりつつある。この流れは情報科学の進歩とも連動して、データ駆動型アプローチの代表であるゲノミクスが社会に実装されている潮流を形成している。いささか過熱気味の社会背景もあり、ゲノミクスが環境問題や医療・健康問題の解決に向けて大きな貢献をしていくことへの期待が高まってきている。そうした期待に正しく応えるためには、ゲノミクスのこれまでの発展の歴史を辿り、その上で今後の課題を明確化していくことが大切であろう。

ゲノミクスというアプローチが実現可能になったのは、様々な関連技術の進歩の蓄積があったからこそである。既に述べた情報科学的なハードウェア技術の進歩が最も重要な要因の一つであるが、それ以外にも次世代シーケンシング技術とそれを支えているハイスループットな核酸合成技術などの広い技術分野における革新のおかげである。そうした意図で、私の研究経歴の中で出会った DNA シーケンシングの技術革新を生んだいくつかの技術ポイントについて本講演の中でご紹介したい。そうした「温故知新」が、次の「課題」の解決に結びつくことを期待したいからである。

その上で、特にヒト遺伝学におけるゲノミクスの展開を振り返り、エクソームシーケンシングから全ゲノムシーケンシングへの展開、さらにはそのゲノム情報を補完するためのオミックス解析の現状を俯瞰し、実際の社会の中に実装されていくための課題を考えてみたい。「期待」は私達が技術革新を進めるために必須ではあるが、それが誤った「技術への過信」や「技術依存」に繋がらないためには、私達は常に「期待」と「課題」の両者を考え続けていかねばならない。

NGS 解析の効率を上げる新しいキャプチャライブラリと全自動ライブラリ調製装置

アジレント・テクノロジー株式会社 堀田 雅宏

アジレント・テクノロジーはターゲットシーケンスのための NGS ライブラリ調製試薬として SureSelect シリーズを展開し、多くの研究者の方々にご利用頂いています。

これまでも弊社のオリゴ合成技術を応用し、高品質のキャプチャライブラリ（ターゲットキャプチャに使用する、ターゲット配列と相補鎖を持つ RNA プローブ）をご提供してきましたが、今年 8 月より新たなプローブ選択アルゴリズムと製造プロセスを導入し、さらにターゲットキャプチャ性能が向上しました。本ウェビナーでは、その具体的な内容をデータとともにご紹介いたします。

また、SureSelect 試薬を用いたライブラリ調製を完全自動化する装置である、Magnis NGS Prep System もご紹介いたします。本製品は、最初に試薬とサンプルをセットすれば、ライブラリ調製終了まで操作の必要がありませんので、より効率良く時間を利用して研究を進めることができます。本ウェビナーでは、装置の概要と本製品でライブラリ調製を完全自動化することによる利点をご紹介いたします。

※本講演で紹介する製品はすべて研究用です。その他の用途にご利用いただくことはできません。

©Agilent Technologies, Inc. 2020

アジレント・テクノロジー株式会社

本社 / 〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1
●カスタムコンタクトセンター ☎0120-477-111
mail : email_japan@agilent.com
http://www.agilent.com/chem/genomics:jp